

志賀原子力発電所 2号機 試運転中の出力降下について
(連絡区分 に基づく連絡)

本日、北陸電力(株)から、試験的に発電を行っていたところ、復水器から排出される気体廃棄物中の水素の濃度が上昇したとの連絡があった。

北陸電力では、本日試験的に発電を開始し、22万6千kWで試運転中、11時9分に水素濃度高の警報が発生した。

その後、出力を17万5千kWまで手動で降下させるとともに、気体廃棄物の流量調節を行ったところ、水素濃度が低下し、警報が復旧している。

原因は、現在、北陸電力にて調査中。

本事象については連絡区分 として北陸電力から報告があったもの。

県及び志賀町では、本日、立入調査を実施している。

参考北陸電力HP：<http://www.rikuden.co.jp/press/attach/08040101.pdf>

平成20年4月1日 原子力安全対策室 県庁内線 4234 直 通 076(225)1465
--